広報 メルヘンの里 新庄
No.443
the most beautiful villages in japan

■人口動態■
平成30年12月31日現在
（ ）内は先月比
男……440人(−1)
女……489人(−1)
計……929人(−2)
世帯数…383戸(−3)

・平成31年1月18日発行・〒717−0201 岡山県真庭郡新庄村役場総務企画課 ☎(0867)56−2626 FAX56−2629 ・冨士印刷㈲印行
・新庄村のホームページ http://www.vill.shinjo.okayama.jp/

立ち上がろう みんな主役のむらおこし

平成31年 成人式

新成人の皆さん おめでとうございます

＝主な記事＝

新年のあいさつ……2～3面
地区意見交換会……4面
冬のふるさと小包発送…5面
平成31年成人式……7面
お知らせ……8面
地域おこし協力隊活動報告…10面
社協だより……11面
学校だより……12面

平成31年成人式

ご成人おめでとうございます。
心からお祝い申し上げます。

新年のごあいさつ

新庄村長　小倉　博敏

新年あけまして
おめでとうございます。

ご家族お揃いで、輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

平素は、村政運営に対し深いご理解とご協力を賜り心より、厚くお礼申し上げます。

さて、本村では他の自治体に先駆けて「まち・ひと・しごと創生総合戦略」等に基づき、地方創生に関する各般の取組について、それぞれの目標の達成に向かって、現在施策を進めているところです。

旭川の源流に位置し、美味しい水をはじめ豊かな資源に恵まれた本村では、農業や林業といった、第一次産業を基盤とした地域振興が最も重要であるとの認識の下、現在、村民の代表者を含む関係者からなる、「活性化委員会」を設置し、農業・林業の将来像について議論を進めております。特に農業については、委員会からの提案を受け、より具体的なテーマ毎のプロジェクトチームを設置し、新年度からは具体的な施策の実現に向けた取組をより積極的に進めていくつもりです。そこで今日、新庄村の農業振興戦略に魅力を感じた民間企業2社が農業参入する予定であるとともに、30代の若者の山林事業への就労も増えてきつつあり、今後の活躍を期待しているところです。

また、新年早々、大相撲の初場所初日から、両国国技館において、新庄ヒメノモチを縁起の良い「力餅」として発売することとしており、全国デビューを喜んでいます。

また、昨年4月より新庄村も加わった真庭観光局が発足し、本村の観光振興にも一層の発展を期待しているところです。旧出雲街道の街並みを活かした街づくりのため、桜の生育環境の整備と併せて、春のオープンを目指し、現在旧須貝邸を改修した宿泊施設を整備しているところです。また、関係各位のご協力もいただき、昨年4月にリニューアルオープンした道の駅「がいせん桜新庄宿」においても、新商品の開発をはじめ、お客様に一層ご満足いただけるよう、様々な工夫を凝らしているところです。こうした取組により、お陰様で売上げも好調に推移しており、年間の来館者数が10万人に迫る勢いです。これからは滞在人口を拡大し、がいせん桜通りをはじめとする村内の賑わい創出、ひいては地域全体の振興が実現するよう、真庭市と連携し取り組んでまいります。さらには、新庄宿の賑わいを取り戻そうと、現在、住民の声を聞きながら、がいせん桜通りのグランドデザイン策定にも着手しております。

また、学校教育と子育て支援は最重要課題の一つです。新年度から、これまでの「連携」を超えるものとして、小中一貫教育を実施すべく準備を進めているところです。地域に根差した特色ある教育を目指し、学校・保護者・地域が一体となった取組に努めてまいります。今から健やかに成長した新庄っ子が次世代を担う若者としてあらゆる分野で活躍してくれることを願うばかりです。

ふるさと納税については、制度の見直しについて、様々な議論がありますが、この機会を捕えて、地域資源を活かした返礼品開発に努め、新庄村のファンづくりにつなげたいと考えています。

私の最大の悩みは人口減少問題ですが、お陰様で平成28年度以降、本村の人口は社会増が続き、減少傾向に一定の歯止めがかかりつつある状況にあります。私はこの流れをさらに継続できるよう、今年「第二次の人口減少ストップ宣言」を行い、そのためにはどうすべきか、官民あげて知恵を出しあって行動に移していきたいと考えています。そして、冒頭にも申し上げました

地方創生総合戦略等々の目標達成に向けて、適時・適確な施策を実施することにより、小さな村ならではの村民一家族の日本で最も美しい村づくり、地区づくり、人づくりを、村民の皆様とともに村民の幸せを願って猪突猛進で進めてまいります。その際には、何卒、一層のご理解・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、今年一年、村民の皆様方のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げまして、私の年頭の挨拶とさせていただきます。

新庄村議会議長 磯田 博基

皆さん、明けましておめでとうございます。

平素は、議会に対してご理解、ご協力いただいていることに厚くお礼申し上げます。

全国議長会や研修会で、しっかりと村民の皆さんに「議会が今何をしているか報告しなさい」とよく指摘されますので、今、議会が取り組んでいる一端を報告させていただきます。

一昨年から議会改革に取り組み、アンケート調査を実施しました。その結果「議会に関心ありますか」という問いには、約半数の方が「ある」と回答された一方、「議会の評価、活動に対して」は、「ある程度評価するが満足していない」といった意見もあり、期待するものとして、村民の意見、要望を聴く機会を設ける事や村民の利益になる政策の提言という意見が寄せられました。

そこで、議会改革の一つとして、直接住民の皆様の意見を伺う機会を持ちたいと考えました。初めての事なのでどのような形で行うか検討しました。県の他町村の行動も参考にと思い調べましたが、なかなか思うような結果ではないように思われました。そこで日本全国の自治体でこのような活動に実績を持っておられる「構想日本」の住民協議会を参考にしようと考えました。無作為抽出による村民参加を用いることで、これまで政策形成などの場面に接点の少なかった人や、参加を躊躇していた人など広範囲の皆さんの意見が聞けるのではないかと思いました。今回は18歳から75歳までの年代毎に約20名ずつ無作為に抽出して120名の方々に委員のお願いをさせていただきました。その中から16名の方が委員になってくださいました。

今回のテーマは「役場庁舎建設」について皆様が必要とするのか、しないのか。必要とすれば場所や機能はどのようなものを期待されるのか検討する中で課題を浮き彫りにしながら方向性を共有していきたいと考えています。今回の協議会は4回を予定しています。第1回を昨年の11月26日に行いましたが、今までにない意見があり、それぞれ皆さんが発言され、私もいろいろな会議に出ますが、今回本当に楽しく参考になった協議会だったと思いました。委員になっていただいた人、傍聴してくださった人もいい協議会だったと言っていただきました。これからもどんな意見が出るか楽しみにしています。

2009年に新庄村で開催された「日本再発見塾」に関わってくださった先生達は、今も新庄村の振興のために力強い風を送っていただいています。「構想日本」代表の加藤さんも、その一人です。今回120名の中から16名の方が委員に承諾されるのはパーセントから言えば自分たちが関わっている自治体の中では全国一だと言われました。私はその事が新庄村の底力だと、絆だと思っています。小さい村だから「身の丈に合った村」「人と人が信頼できる村」を目指しオール新庄村で皆さんの声が政策に反映されるように議会からいろいろと提案するように、「安心して住みやすい村に」「若者たちが夢を持ち生活していける村」を目指し突進していこうと思いますのでご指導、ご鞭撻、ご協力をよろしくお願いします。

今年が皆様にとって、健康で元気で安心して日々が過ごせますように祈念しまして挨拶といたします。

地区意見交換会を行っています

今年も、地区意見交換会を行っています。既に７地区で行い、村の活性化に関することや災害対策、農業に関することなど活発な意見交換が行われています。

役場では地区意見交換会を通年で受け付けています。未開催地区で希望がありましたらお気軽にお申し出ください。

（総務企画課　辻）

古民家宿泊施設の愛称が決定

10月20日から11月20日にかけて公募を行った、がいせん桜通りの古民家宿泊施設の愛称について、北は北海道、南は九州から２２０名、計７５８件の応募がありました。

審査は応募者名を伏せ、公平に行われました。そして、新庄らしさと村民から親しみ深い点が評価され、千葉朱里さんが応募された「新庄宿須貝邸」に決まりました。

今後、「新庄宿　須貝邸」が、がいせん桜通りのシンボルとして、村民の皆様をはじめ、多くの方に愛され、親しんでいただけるよう、引き続き整備を進めてまいります。

（総務企画課　日並）

年末火災予防警戒

消防団では、年末にかけての火災予防警戒活動として、10月29日から12月16日までの７週間にわたり、各部交代で村内の夜間巡回を実施、火の取扱いに注意するよう呼びかけながら、パトロールを行いました。

また、12月28日から30日までの３日間は恒例となっております年末夜警を実施、初日の28日には役場前に消防団員が集合し、真庭消防署からの慰問を受けました。また、小倉村長、清川団長より年末の火災防止に努めるよう訓示がありました。

寒い日が続き、ストーブ等の暖房器具の使用が多い時期です。火の取扱い、火の元には十分注意してください。

（総務企画課　千葉）

村道田浪線改良の整備促進に係る要望活動

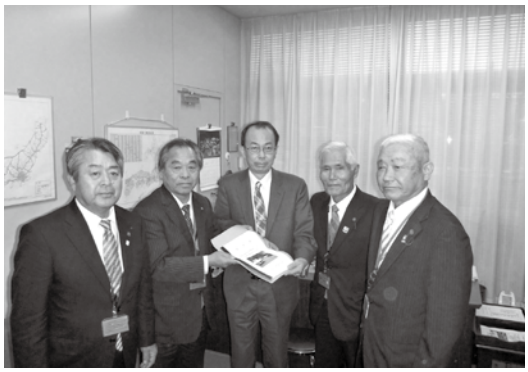
12月６日に村と村議会合同で国土交通省、財務省、地元選出国会議員に対し、村道田浪線の早期完成に向けた整備予算の要望活動を行いました。

国土交通省では、村長・議長他２名の議員が、道路局の田尻官房審議官、野田環境安全・防災課長、門間環境安全・防災課道路計画調整官と面会し、要望書を手渡して田浪線改良事業の進捗状況及び

本路線の重要性を説明した後、意見交換を行いました。

住民の安全安心の確保及び地域活性化の加速を図るため、道路整備に十分な予算を確保していただくよう今後も継続的に要望活動を行っていきます。

（産業建設課　島田）



道路局　田尻官房審議官へ

冬のふるさと小包発送

平成30年12月18日（火）新庄村公民館にて900個の冬のふるさと小包の発送が行われました。

この制度はメルヘンの里特別村民制度運営協議会が主体となって昭和59年に発足し、今年で35周年を迎えました。

生産者の皆さんが「丸餅・豆餅・玄米餅・手づくり味噌・ゆず味噌・山蕗の佃煮・サルナシジャム・アマゴの甘露煮・もち花・ひめの甘酒・脱臭炭」の11品目の特産品を箱詰めし、全国の皆さんへ発送を行いました。

なお、ふるさと小包の制度は、来年度から秋を加えた年3回に変更する方向で検討することが、生産者の皆さんによって決まりました。さらにご利用しやすく愛される小包になるよう、取組を進めてまいります。

（産業建設課 山田）

「歳末ひめのもちキャンペーン」

12月29日（土）～30日（日）の2日間、岡山市の天満屋岡山本店6階みどりの広場で恒例の「歳末ひめのもちキャンペーン」を行いました。

このキャンペーンは平成14年から行っており、新庄村の「ヒメノモチ」ブランド化推進を目的にヒメノモチ生産組合、新庄村、新庄村議会、農業委員会、JA真庭、（株）メルヘン・プラザが中心となって、杵つき実演によるひめのもちのPR販売に取り組んでいて、今回で17年目を迎えることになりました。

食品衛生法上、催事での餅つきが厳しく規制される中、特に衛生面に注意し開催しました。例年多くの方にひめのもちを購入していただいておりますが、先人の築いたブランドを守るためスタッフ一丸となって販売・PRを行いました。

今回より2日間の開催となり年末のお忙しい時期にも関わらず、ご協力いただきました皆様にお礼申し上げますとともに、今後のさらなるブランド化への取組に、引き続きご支援をお願いいたします。

（産業建設課　竹本）

「子育て講演会」

12月20日(木)中央公民館を会場に、岡山市で内科小児科医院を開業されている医師青木佳之先生を講師に招き、「地域ぐるみで子どものいのちと生活を守る」と題してお話をいただきました。青木先

生は内科・小児科医で勤務しながら岡山県病児保育協議会会長として病児保育の推進をされており、新庄村で病児保育が10月より開始となったことが契機となり、講演会の開催となりました。

病児保育の実情をお話しいただき、先生より「県内全域に病児保育の体制ができたとはいえ、他の市町村では隣の自治体を広域的に利用して確保している状況であり、新庄村では地元で病児保育ができていることは素晴らしい。」というお言葉をいただきました。新庄村ではまだ始まったばかりであり、いつでも利用できる体制が整っていないなど課題は多くありますが、地域の子育て支援として発揮できるように今後も改善できればと思います。

病児保育利用の詳細につきましては、住民福祉課までご連絡ください。

（住民福祉課　竹本）

ヘルプマーク・カードの配布について

障がいのある方をはじめとして、普段の生活で配慮を必要としている方がいらっしゃいます。しかし、そういった方々は自分から「困っている」となかなか伝えることができません。ヘルプマーク・ヘルプカードはこういった方々が普段から周囲の方に気が付いてもらえるよう、身に付けるものです。このマークを見かけたときにはぜひ声をかけてあげてください。また、カードには詳しい障がいや困っていることの内容が記入されています。お互いに気遣うことのできる住みやすい環境づくりにご協力ください。

なお、住民福祉課では申請によりヘルプマーク・ヘルプカードを配布しております。お気軽にお問い合わせください。

（住民福祉課　藤井）

第37回新庄村体力づくり新春ジョギング大会

新年恒例の「第37回新庄村体力づくり新春ジョギング大会」を1月2日（水）、新庄村公民館前をスタート会場として開催しました。

今年も路上には積雪もなく晴天に恵まれ、村内外から62名の方が参加され、新春の走り初めを楽しみました。

開会式では石倉公民館長が挨拶をし、小倉村長から激励のお言葉をいただき、新成人10名の紹介後、代表して清川将汰さんと坂本奈温子さんによる号砲で一斉にスタートしました。がいせん桜通りを駆け抜け、新春の走り初めに心地良い汗を流しました。ゴール地点では、ラストスパートの選手や親子で手をつなぎながら走る選手などに多くの声援や拍手が送られました。

無事全員が完走した後、各コース上位3名に表彰と全ての参加者に完走証が渡され、成年団の皆さんのご協力によりぜんざいの振る舞いもしていただき、にぎやかな大会となりました。

なお、新年早々、スポーツ推進委員や関係スタッフの方々には、早朝からご協力をいただき、紙面をお借りして御礼申し上げます。

（教育委員会　前田）

平成31年成人式
新成人の皆さんおめでとうございます

1月2日（水）、公民館大会議室で平成31年新庄村成人式が行われました。

今年は、平成10年4月2日～平成11年4月1日生まれの11名が対象で、参加した10名は同級生との久しぶりの再会に話が弾んでいました。

式典では、新成人が自己紹介を行い、税理士や保育士を目指していることや少子高齢化に歯止めをかけ、日本を明るくするなど抱負を語っていただきました。続いて主催者を代表して石倉教育長から激励の挨拶、そして小倉村長、磯田議長からお祝いのお言葉をいただきました。

最後に新成人を代表して、川上大賀さんから「両親と歴史に感謝の念を持ち、力の限り疾走する人生を歩み、一生涯自分の理想を追いかけていきます。」と力強く謝辞を述べました。

皆様の一層の成長とご活躍をご期待申し上げます。

（教育委員会　山田）

「村への提言」
～「ふるさと新庄学」を通して～

地域を愛し誇りに思い、地域との共生を考える生徒の育成をめざしての取組も今年で3年目となりました。今年も昨年に引き続き、新庄村の素晴しいところを考え、自分達の貢献活動でさらに良くできないかを考えて活動を行いました。11月10日（土）の小中合同の学習発表会で「盆踊り」、「オススメ特産品」、「カラフルひめのもちギョウザ」、「地域間交流」の全ての班が活動の成果と課題を発表し、来ていただいた方々からも中学生の活動に賞賛のお言葉をいただきました。

そして、12月20日（木）には新庄村役場議場で村議会総務常任委員会（村長・教育長・各課長・議員）の皆様に発表する機会をいただきました。昨年度は2つのテーマに絞って発表しましたが、今年度は4つの班全てが取組に対する発表を行いました。その取組を通してできた提案や要望を村に対してお願いしました。村から前向きな回答を数多くいただくことができました。ありがとうございました。

（新庄中学校　今井）

お知らせ

《戸籍の動き》

平成30年12月受付分

死亡届　お悔やみ申し上げます。

＊平成30年12月16日
谷口　峯子（満87歳）

＊平成30年12月21日
池田　きみ（満100歳）

婚姻届　末永くお幸せに

＊佐藤　浩士
篠原　奈緒

「戸籍の動き」への掲載希望について、遠慮なく住民福祉課までご連絡ください。

（住民福祉課　山田）

1月の納税

村県民税（4期）
国保税（8期）
介護保険料（8期）
後期高齢者保険料（7期）
納期限　1月31日（木）

年金相談

2月の年金相談日をお知らせします。

日時
2月14日(木)　10時～12時
　　13時～15時
2月28日(木)　10時～12時
　　13時～15時

場所
真庭市役所久世本庁舎

予約先
津山事務所 お客様相談室
0868-31-2360

＊自動音声案内が始まりましたら①番を押し、次に②番を押してください。

※相談内容を把握するため、前日までに必ず予約をお願いします。

※年金番号がわかるものと、本人確認ができる免許証、保険証などを持参してください。また、代理の場合は委任状が必要です。

（住民福祉課　山田）

ご寄付をいただきました

梨瀬地区　金盛久展様よりご寄付をいただきました。ありがとうございました。

2月は北方領土返還運動全国強調月間です

～返還へ　世代を越えて　つなぐ声～

北方四島（歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島）の返還を求めて2月7日の「北方領土の日」を中心に各地でさまざまな行事が行われます。

2月7日は、1855年のこの日、伊豆の下田において日魯通好条約が調印され、平和裏に日本とロシアとの間の国境が画定された日です。この事実こそ、わが国が北方四島の返還を求める重要な根拠なのです。

岡山県でも、2月1日(金)にさん太ホール（岡山市）で「北方領土返還要求岡山県民大会」、1月28日(月)から2月8日(金)まで岡山県庁1階県民室で「北方領土パネル展」が行われます。

北方四島の早期返還実現のため、返還運動への皆様のご理解とご協力をお願いします。

問い合わせ先
岡山県北方領土返還要求運動県民会議
（事務局：岡山県総合政策局公聴広報課内）
086-226-7158

11月期の交通事故・違反者発生状況

区分		村内		真庭市内	
		11月期	本年の累計	11月期	本年の累計
事故	件数	0	1件	2	55件
	死者	0	0人	0	1人
	重傷	0	0人	1	9人
	軽傷	0	1人	2	57人

お元気ですか？

「全国生活習慣病予防月間」

2月は、全国生活習慣病予防月間です。日本生活習慣病予防協会が定めたもので、〝一無二少三多〟で生活習慣予防を基本テーマとしています。

・一無（いちむ）
「無煙・禁煙の勧め」
・二少（にしょう）
「少食・少酒の勧め」
・三多（さんた）
「多動・多休・多接の勧め」

2019年のテーマは「少酒」です。さまざまな生活習慣病はアルコールと密接に関係しています。大酒をすれば多くの疾病が誘発する可能性が高まります。1日の摂取量を守り、休肝日もしっかり作りましょう。

禁酒！

休肝日を作りましょう！

【1日の摂取量】

ビール…中瓶1本500㎖
清酒…1合180㎖
ウイスキー・ブランデー…ダブル60㎖
焼酎（35度）…半合90㎖
ワイン…1杯120㎖

（住民福祉課　大塚）

今月の俳句（新庄村俳句教室より）

手に取れば色即是空初氷　湯浅　芳郎
雨どいや落葉宿りて雪を着る　宇田　弘通
人波や紅葉の山に飲み込まれ　田中　寛一
留守番は猫にまかせて歳の暮　大月　幸子

バレンタインジャンボミニも同時発売
1等・前後賞 3億円
バレンタインジャンボ
県内での宝くじの売り上げは、公園、学校などの教育施設の充実など、県民のみなさんの身近なところに役立てられています。
宝くじは、「県内」でご購入ください。
発売期間 1/30(水)～2/22(金)
お問い合わせ先／岡山県総務部財政課 TEL086-226-7231

毎月順番に、日頃の活動を発表していきます！　2019年1月

新庄村
地域おこし協力隊

今月の活動報告

今月のメインは

短い間でしたが、お世話になりました

地域おこし協力隊の小林です。最初に報告させていただきます。２０１８年12月末で地域おこし協力隊を退任致しました。農業関係の協力隊として昨年４月から新庄村に住ませていただいて１年９か月でした。

村外から来たよく分からない人間にもかかわらず、皆様から声を掛けていただき嬉しかったです。有機農業サポートセンターでの業務を通じて色々なことを学ばせていただきました。短い期間でしたが、今までの人生の中で一番密度の濃い時間でした。

農業で生計を立てることを目標にやってきましたが、肝心の栽培に関しては失敗の連続で成果を出すことができず、自分の考えの甘さを実感しました。その中で特に感じたのは農業で食べていくためには人材、機材、資金が必要だということです。これは個人的な考えですが、残り１年数か月の任期を経過後、この問題を解決して農業で生計を立てていくのは難しいと考えました。研修や免許の取得、栽培等、やりたいと言ったことを叶えていただいたにも関わらず、このような形で村を離れるのは私の力不足です。

お世話になった皆様本当にありがとうございました。新庄で学んだことを糧にいつか新庄の農業に恩返しができるような農業人を目指していきます。

小林　直樹

林業
栃澤（とちざわ） まどか

年末はふるさと小包発送や岡山天満屋での餅つきと、村あげての催しでした。サルは１月末迄村外へ出る傾向にあります（昨年データより）。2019年も宜しくお願いします。

観光
内藤（ないとう）　愛（あい）

クリスマスの飾りを村のススキやツルで作っていました。素材を「新庄村のもので作りました」と言えたり、きっかけとして村の自然に興味を持ってもらえるのはうれしいです。

林業
塚田（つかだ） 浩介（こうすけ）

今月の活動内容は①中電鉄塔支障木の伐採②土木屋さん河川改修に先行した竹・雑木の伐採③村内神庭での間伐作業 でした。木が大きいと切り甲斐があります。

社協だより 理想の福祉を目指して

理事会・評議員会開催

平成30年12月13日（木）に理事会を開催し、監事より上半期2回行った監査報告を行い、続いて日本財団へ車両申請の報告、職員会議の報告を行い、新庄村社会福祉協議会事務局職員就業規則の一部改正、平成30年度新庄村社会福祉協議会収入支出補正（第1号）予算案、定時評議員会の開催、平成30年度歳末援護事業についてをそれぞれ審議し、原案通り可決承認されました。

また、12月21日（金）には評議員会を開催し、理事会同様の報告を行い、平成30年度新庄村社会福祉協議会収入支出補正（第1号）予算案を原案通り可決承認されました。

クリスマス会

ふれあいセンターでは毎年ご利用者様に感謝の気持ちを込めてクリスマス会を開催しています。

今年も保育所の子供達が可愛い衣装を付けて踊りや劇を披露してくれました。耳の不自由な方でも楽しめる演目があり、いつも以上に喜ばれていました。

昼食は、おばこの会の皆様の心のこもったクリスマス料理を美味しいと口々に言いながら、お腹いっぱいいただきました。

午後からは、対戦形式のゲームや歌を楽しみました。紅白歌合戦では「高校三年生」に合わせて、スタッフが学生服で登場。皆さん学生時代を思い出し、大笑い。

職員の出し物として「秋田大黒舞」を披露し、大黒様と因幡の白ウサギ、福の神様と福助からクリスマスプレゼントがあり、大盛り上がりの中、お開きとなりました。

毎年楽しみにしてくださっている利用者からは、「今年もふれあいセンター一家で踊りもなにもかにもやりました、たいした物です」「また、来年が楽しみです」と嬉しい感想をいただきました。

ここへ来ていて良かったと思っていただけるイベントができるよう、これからもますます頑張っていきたいと思います。皆様一年間ありがとうございました。今年も宜しくお願いいたします。

デイサービスの活動

一年最後の行事、しめ縄作りをしました。「正月行事は歳神様をお迎えするための行事」と教えてくださいました。歳神様は家々にやって来られ、生きる力や幸せを授けてくださるそうです。久しぶりに藁を編んで、できあがったお飾りを「ええなぁ」と眺められていました。昔から伝えられている行事は受け継いでいきたいものです。ご協力いただきました皆様の温かいご厚意に感謝致します。ありがとうございました。

【ご寄付】

12月1日～12月31日

新庄村社会福祉協議会に次の方からご寄付をいただきました。

◆香典返し

金盛久展　様　谷口浩基　様

厚く御礼申し上げます。

社協へのお問い合わせ　56-2001

中学校だより

もちつき体験学習
～小学生が作った米を使用して～

12月21日（金）の終業式後、役場の方々のご指導により、毎年恒例となったひめのもちの４人づきを体験しました。水を使わず、臼（うす）と杵（きね）で４人が息を合わせてつく新庄村伝統の４人づきを、次世代に伝えていくためにこの取組を始めて、今年で10回目になりました。

役場職員の方々にお手本として１臼（うす）ついていただき、その後生徒と教職員で４人１組の班を作り、１臼を２交代でついていきました。上級生は今までの経験を生かして、力強く上手につくことができました。杵（きね）についた餅を縄で取ったり、櫂（かい）という道具で臼から餅を運んだり、雑煮用に丸めたりと貴重な体験ができました。

使用したもち米は、今年も小学生が作った「ひめのもち」30kgで、８臼つきあげました。雑煮やきな粉でいただき、新庄特産の「ひめのもち」で一足早いお正月の気分を味わいました。

（新庄中学校　河井）

小学校だより

人権参観日

新庄小学校では、例年12月の人権週間に合わせ『人権参観日』を実施しています。各学級で人権にかかわる学習をします。今年度は12月７日（金）に実施しました。

１年生は道徳『ふわふわことば』で友達と温かい関係を築ける言葉について考えました。２年生は道徳『ちくちく言葉』で人を嫌な気持ちにさせる言葉を使わないことや、マイナスな気持ちになったときどう対処するかを学習しました。３・４年生は道徳『遠足の朝』で勇気を持っていじめを止め、なくしていく行動について考えました。５・６年生は道徳『何がいじめなの』で価値観は人によって違い、それを認め合うことの大切さを学習しました。

午後は中学の人権参観が実施されました。

小中学校時代は、一人ひとりを等しく大切にする人権感覚やそれに基づく態度・行動を形成する大事な時期です。

今後も小中学校連携し、心の教育も充実させていきます。

（新庄小学校　岡田）

R100
再生紙を使用しています